令和５年度山口県立大学大学院
国際文化学研究科国際文化学専攻
入学試験【追加】問題
（総合試験）

問題は、全部で６問あります。
「英語を選択する一般選抜受験者」「英語を選択する社会人選抜受験者」「外国人留学生選抜受験者」は、６問のうちから２問を選び、解答してください。
「英語を選択しない一般選抜受験者」と「英語を選択しない社会人選抜受験者」は、６問のうちから３問を選び、解答してください。

問１

あなたの地域に住んでいた高名な文学者が亡くなり、残された膨大な原稿や蔵書をどのようにするかが問題となりました。あなたが地域の文化振興に関わる公務員であったとしたら、その文化資源を地域に生かすため、どのようにしたらいいと考えますか。その理由を含めて、適宜、具体的事例もあげながら、1000 字以内で述べなさい。

問２

グローバル化の進展に伴い，スポーツやビジネスなど様々な場面で英語がリンガ・フランカ（国際共通語）として用いられている。日本国内においても英語を社内公用語として採用する企業が増えている。グローバル社会における英語の重要性は，これからますます増していくと思われる。このことについてどのように思うか，自分の考えを 1000 字以内で述べなさい。その際に，英語化を推進することのプラス面とマイナス面について触れること。

問３

国際化が進む経済社会において、日本が今後直面する課題を１つ挙げ，あなたの考えを1000字以内で述べなさい。

問４

次の文章を読み、下記の問題に答えなさい。

A. 全く知らない言語が使われている所で、あなたが突然、暮らすようになった場合、現地の人とどのように話ができるか。対話ができるまでの過程を議論しなさい。

B. ゾウやイルカのように同じ種の個体間で、鳴き声や音波を送信しあう動物がいる。この種の動物の鳴き声や音波の送信を収集、分類、再現することで、人間は、その動物と対話できるようになるだろうか。

A.とB.の両問に答える内容で具体例を補い、あなたの考えを1000字以内で述べなさい。

問５

地域コミュニティにおける外国人住民と日本人住民の相互理解という観点から、多文化共生に関するあなたの考えを 1000 字以内で述べなさい。

問６

デザインを活用した地域振興について、具体的な事例を用いて述べなさい。解答については「1000 字以内の文章」か「絵図と 400 字以内の説明文」のいずれかで答えなさい。

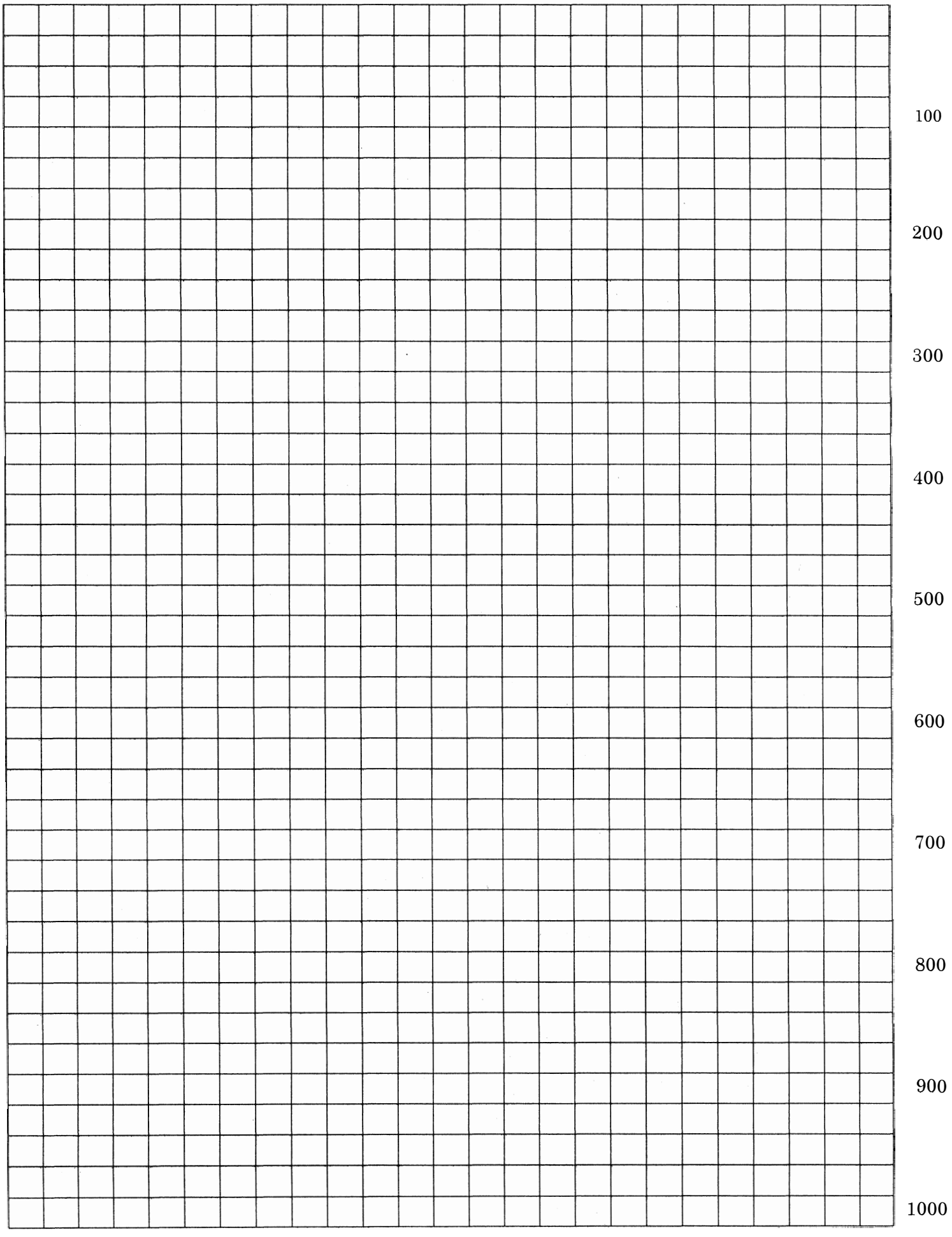
令和５年度山口県立大学大学院国際文化学研究科国際文化学専攻入学試験【追加】
（総合試験）　解答用紙

受験番号	

得点	

問（　　）※選択した問題番号を記入してください

横書き→



令和５年度山口県立大学大学院国際文化学研究科国際文化学専攻入学試験【追加】
（総合試験）　解答用紙

受験番号	

得点	

問（　　）※選択した問題番号を記入してください

横書き→

100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000

令和５年度山口県立大学大学院国際文化学研究科国際文化学専攻入学試験【追加】
（総合試験）問６専用　解答用紙

受験番号	

得点	

問６（絵図）

問６（説明文）

横書き→

100

200

300

400